

食用サボテン、

はじめました



地球の未来を救う食用サボテン

サボテンが地球の未来を救う可能性を秘めていることをご存じでしょうか？

気候変動や人口増加への対応が喫緊の課題である現在において、驚異的な生命力をもつサボテンは新しい作物として世界で注目を集めており、食品・家畜飼料・加工品原料として30カ国以上で栽培されています。また2017年には、国連食糧農業機関が「食用サボテン」は世界の食料危機の大部分を救う答えになり得る」との見解を表明しています。^{*}

サボテンには用途の広さ、栽培の容易さ、豊富な栄養等たくさんありますが、まだまだ未知の可能性を秘めています。本プラットフォームは、サボテンの潜在能力を科学的に解明し、研究成果と開発した製品を社会に実装していくことで、日本の農業・食品産業の活性化や環境問題の解決に貢献することを目指しています。

^{*}Inglese, P et al., (2017). Crop ecology, cultivation and uses of cactus pear. FAO.

関連する採択事業
令和5年度 オープンイノベーション研究・実用化推進事業 基礎研究ステージ (研究シーズ創出タイプ)

サボテン等多肉植物の潜在能力発掘と
活用推進プラットフォーム



農林水産省

産学官連携の新しいかたち
「知」の集積と活用の場
産学官連携協議会